



Shaping the Future with Trees

日本製紙グループ
統合報告書 2020

2020年3月期

目次

1 2019年度月別トピックス

2 企業グループ理念

4 ビジネスモデル

- 4 日本製紙グループの
価値創造フロー
- 6 木質資源の特性
- 8 日本製紙グループが
提供する価値
- 10 日本製紙グループとSDGs

12 日本製紙グループ
の概要

- 12 財務・非財務ハイライト
- 14 日本製紙グループ
at a Glance
- 17 グループ戦略

18 社長メッセージ

26 事業戦略

- 26 紙事業
- 28 板紙事業
- 30 パッケージ事業
- 32 家庭紙・ヘルスケア事業
- 34 ケミカル事業
- 36 エネルギー事業
- 38 木材・建材・土木建設
関連事業
- 40 日本製紙グループの
海外展開
- 42 事業を支える研究開発

46 成長を支える基盤

- 46 新型コロナウイルス
感染症への対応
- 47 コーポレートガバナンス
- 54 リスクマネジメント
- 55 コンプライアンス
- 56 取締役および監査役
- 58 調達
- 60 森林経営
- 62 環境
- 70 お客さまの信頼
- 72 人権への配慮
- 73 人材
- 75 労働安全衛生
- 76 地域・社会との共生

77 財務情報

- 78 11ヵ年財務・非財務
サマリー
- 80 財務戦略
- 82 財務の概況
- 83 事業等のリスク
- 86 連結財務諸表

94 企業情報

- 94 連結子会社・持分法適用
関連会社
- 96 会社概要／株式情報

編集方針

日本製紙グループでは、2019年度から財務情報と非財務情報を体系的にまとめた「統合報告書」を発行しています。本報告書では、当社グループのビジネスモデルや強みを明らかにするとともに、中長期的な成長戦略および経営基盤強化への取り組みをお示しすることで、株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆さまに当社グループが今後どのように持続的成長を実現していくのかをご理解いただけるよう努めています。

見通しに関する注意事項

本報告書に記載されている日本製紙株式会社および日本製紙グループ各社の計画、予想、戦略、確信に関する記述は、過去の事実を除き、日本製紙株式会社および日本製紙グループ各社の経営者が現在入手可能な情報に基づいて判断した将来の業績に関する見通しです。したがって、これらの業績見通しに全面的に依拠して投資判断されることは控えるようお願いいたします。実際の業績はさまざまな要因の変化により、これらの業績見通しとは大きく異なる場合があることをご承知ください。

発行：日本製紙株式会社

<https://www.nipponpapergroup.com/>

©Nippon Paper Industries Co., Ltd. 2020

本報告書は、法律の定めのある場合または権利者の承諾のある場合を除き、いかなる方法においても複製・複写することはできません。

2019年度月別トピックス

トピックス (製品)		トピックス (経営)
	5月	勇払バイオマス専焼発電事業を決定
紙製ストロー「シルフィール™」が 飲食業界で初採用	6月	代表取締役社長に野沢徹が就任 取締役に対する株式報酬制度を導入
養牛用「高消化性セルロース」を開発 差し替え型容器「SPOPS®」が「LIFE×DESIGNアワード ベストサステナビリティ賞」を受賞	9月	「シールドプラス®」シリーズ欧州展開に向けて 設備投資を決定
セルロースナノファイバー (CNF) 「セレンピア®」が 住友ゴム工業株式会社の 高性能タイヤに採用	10月	オローラ社豪州・ニュージーランド事業の 板紙パッケージ部門譲受けで合意 
ヒートシール紙「ラミナ®」 を開発		
CNF強化樹脂を環境省NCVプロジェクトの コンセプトカー「木からつくる自然なクルマ」に提供		
紙製ストロー「シルフィール™」が「2019 第32回 小学館 DIMEトレンド大賞」で「日用品部門賞」を受賞	11月	
国立競技場に当社社有林からSGEC森林認証木材を供給		
差し替え型容器「SPOPS®」が山陽物産株式会社のホテル 向け製品など2社で採用	12月	鈴川エネルギーセンター発電事業の バイオマス専焼化を決定 四国化工機株式会社と資本業務提携契約を締結
	2月	勇払事業所に機能性特殊素材事業会社を設立
CNF「セレンピア®」が凸版印刷株式会社の 飲料向け紙製バリアカップに採用	3月	株式会社読売新聞東京本社と新聞古紙リサイクルに関する 契約を締結

企業グループ理念

MISSION

日本製紙グループは世界の人々の豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

VISION

以下の要件を満たす、社会から永続的に必要とされる企業グループ

- 1 事業活動を通じて持続可能な社会の構築に寄与する
- 2 お客様のニーズに的確に応える
- 3 社員が誇りを持って明るく仕事に取り組む
- 4 安定して利益を生み出し社会に還元する

VALUE

Challenge, Fairness, Teamwork

SLOGAN

木とともに未来を拓く

燃料・原料を「木」でまかない、
低炭素社会の実現に貢献

日本製紙グループは企業グループ理念の実現が、
社会の要請にお応えしていくことであると考えています。

